

三菱造船所 ジャイアント・カンチレバークレーン（指定番号：第12号）



写真提供：三菱重工業(株)長崎造船所

所在地：長崎市飽の浦町2

概要：造船業形成期である三菱合資会社時代に建造された同型としては日本初の電動起重機。

機械工場で製造した蒸気タービンや大型船用プロペラの船積み用に使用。

<建造年>1909年（明治42年）

<指定範囲>A=262㎡

<仕様等>・高さ61.7m（機械室上部）

- ・英国製
- ・電動駆動式
- ・定格荷重 150 t

指定理由：

- ・明治42年に日本で初めて設置された、当時最新式の電動クレーンであり、設置から100年経った現在も現役で稼働している。
- ・現在世界に残っている同型のクレーン10基のうちの1基で、当時の姿をそのまま残しており、世界的に希少価値が高く、日本で最古のものである。

備考：2003年登録 国有形文化財